

なとりがわ

■ N a t o r i g a w a ■

夏の蝶、日かげ日なたと 飛びにけり

蝶でさえ、夏の暑さを逃れながら日かげを探して飛び回る…そんな暑い「夏」でした。残念ながら、管内の点検中もまだ僅かばかりの「秋」を感じる風景は見られず、次号で管内の「秋」の訪れをご紹介しますできればと思います。



■ 職場体験により、管内の取り組みを紹介しました。

東北地方整備局で持っている多種多様なフィールドが、実際に見て、触れて、体験し、また実際の現場の方々声を聞いたり、多種多様な学習ができる学習空間として活用いただくよう、職場体験の受け入れを行っています。

名取川出張所ではその一環として、河川巡視・維持工事・樋門の役割等について、体験学習を実施しました。

(実施日：8月23日 西多賀中学校3名
八木山中中学校3名)
(実施日：8月29日 郡山中中学校3名)



河川巡視車両紹介



大型遠隔機による除草作業体験(広瀬川右岸高水敷)



河道掘削工事でのICT重機見学(広瀬川右岸)



樋門の役割を説明(筑川樋門)

■ 広瀬川の「水生生物調査」を行いました。

仙台河川国道事務所では、河川の愛護、水質保全への関心を高めていただくために、昭和59年から毎年、学校や各種団体の協力を得て、河川に生息する水生生物を指標とした水質の簡易調査を行っています。水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、一般の人にもわかりやすく、簡単に調査ができます。また、身近な自然に接することで、環境問題への関心を高める良い機会でもあります。今年も、広瀬川において仙台市立八本松小学校の児童66名と一緒に、水生生物の生息状況の調査を行いました。

(実施日：8月27日 八本松小学校)



広瀬川右岸八本松地区

■ 管内の工事現場だより ■

管内では、防災のための重要インフラ等の機能維持のためのハード対策の1つとして、水害・土砂災害から命を守るインフラの強化を目的とした工事が実施されています。

今回は、広瀬川河道整正工事の掘削現場に伺い、現場代理人の五十嵐さんにお話を伺いました。

広瀬川河道整正工事(株)本田組 現場代理人 五十嵐 英昭さん

工事は、国土交通省の施策「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の事業として、広瀬川に堆積した土砂の撤去と繁茂した樹木の伐採を行っています。川の中に土砂が堆積した状態や多くの樹木がある場合、それらが川の流れの妨げとなり、氾濫の危険性が高まります。工事の施工により、洪水を安全に流せるようになり、地域の防災に繋がります。施工中は重機の稼働や撤去した土砂・伐採木を運ぶ工事車両の通行でご迷惑をお掛けしますが、安全最優先で施工してまいりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



情報通信技術搭載の重機を使用して、川に堆積した土砂を撤去しています。



掘削する形をモニターで確認しながら施工しています。



川岸に生い茂った樹木を伐採しています。

国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所名取川出張所
〒982-0003 仙台市太白区源兵衛東63番 TEL022-248-2249 FAX022-248-2249
<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/natori/index.html>

Commune
with
River